

平成25年度 大学院工芸科学研究科博士後期課程 学位記授与式
学長告辞

本日、博士の学位を取得されました皆さん、誠におめでとうございます。京都工芸繊維大学を代表し、心からお祝い申し上げます。また、皆さんをこれまで支え、育ててこられたご家族の皆様はじめ、本日駆けつけていただいた関係者の方々に対し、心からお祝いを申し上げたいと思います。

京都工芸繊維大学は、昭和63年に大学院を改組し、工芸科学研究科を設置し、これまでに、875名の博士号の学位を授与してまいりました。

本日皆さんには、課程博士甲第687号から甲第715号まで、論文博士乙第190の学位を授与いたしました。皆さんの研究業績は本学の知的財産に加えられ、提出していただいた学位論文は広く人々に公開され、それぞれの分野における新たな展開のため、また技術革新や産業創出のために活用されます。さらには皆さんに続く後輩の研究のために利用されます。

学位を取得された皆さんには、今後、それぞれの分野において能力を発揮されることを希望しています。さらに、特定の専門領域で研究テーマを深く極めることに主眼を置いた研究だけでなく、広い視野に立って、他の研究者との共同作業を心がけていただきたいと思います。そして自らの研究や仕事が、どのような学術的な意味を持つのかだけでなく、社会的にどのような役割を持つのか、社会にどのような影響を及ぼすのか、科学者として、技術者として、一人の人間として、考えていただきたいと思います。

皆さんは、約20年にわたって勉学と研鑽を積んでこられた結果、本日の博士号の学位取得に至ったわけであります。人生の活動期の半分近くを費やして、学位を取得されたことになります。その意味では、博士の学位取得は人生の一大イベントであり、自らの人生の方向を定める一大事業であります。博士号を取得された皆さんは、世界中の誰よりもその研究主題に通暁しています。したがって、自分の研究を最もよく評価できるのも、最も厳しく評価できるのもあなた方において他にはいないのです。その意味からも、これまでの人生を振り返り、自分の研究テーマとこれからの人生、社会におけるキャリアパスと研究生活について、改めて考えていただきたいと思います。

これまで大学の研究活動は専門領域の学会を中心に展開されており、研究成果の社会への適用は企業が行うものとされてきました。大学は基礎研究を行い、企業はそれを応用するという考え方です。しかし今日、日本社会が我々に求めているのは、大学はイノベーションの拠点となり、科学技術を産業に実装することによって社会変革をもたらすべし、というものです。さらに社会変革を実現するためには、まず初めにあるべき日本社会の像を提示し、それを実現するためには、どのような科学技術が必要かを考え、あるものは活用し、ないものは創り出せ、という考え方です。

自発的な研究テーマを学会で発表し、企業がそれを実践するというこれまでの考え方を転換し、初めに望ましい社会像を提示し、それを実現するための最適な技術を見出すこと。その技術は既存技術の改良であってもかまわない、学問的なオリジナリティを追求する姿勢よりも社会実装のための柔軟な姿勢、将来のビジョンが思い描ける能力と同時にそれを実現していく能力が求められています。

こうした時代背景を踏まえて、研究者としてのキャリアパスを考えなければなりません。社会との関連を絶って、孤高の研究者として我が道を行くという選択肢もあるでしょう。但し、大学はもはや象牙の塔ではなく、病的ナルシスと呼ばれる社会性の欠如した自己中心的な研究者を受け入れる場所はすでになくなっていることを認めた上で、覚悟を決めなければなりません。一方、物わかりがよく、社会性にあふれ、過剰適用によって先鋭的な研究主題を放棄してしまうと、研究者としてのアイデンティティーが崩壊してしまう。

研究者としての人物像を確立することは極めて困難な時代です。学術分野の成果を社会の中に位置付けるためには、研究者としての、自分流の生き方を発見することが必要です。オリジナルな生き方を見出すことは、独創的な研究以上に難しいことですが、しかし、研究者としての独創的な生き方を発明することこそが自分の研究成果を社会において実現するための最善の道なのであります。

私たちは、これからも皆さんの活躍を応援し続けます。また皆さん方が修了後も大学を愛することを心から願っております。母校への愛情は、自らの人生とこれからの活動に自信と誇りを与え、より高い課題に取り組む勇気を与えてくれます。皆さんは、私たち教育者の誇りであり、皆さんの活躍は、京都工芸繊維大学が世界一の大学であるということを世界に示す証左となります。できれば近い将来、皆さんと再び共同研究が行える日が来ることを楽しみにしています。

平成26年3月25日
京都工芸繊維大学長
古山正雄